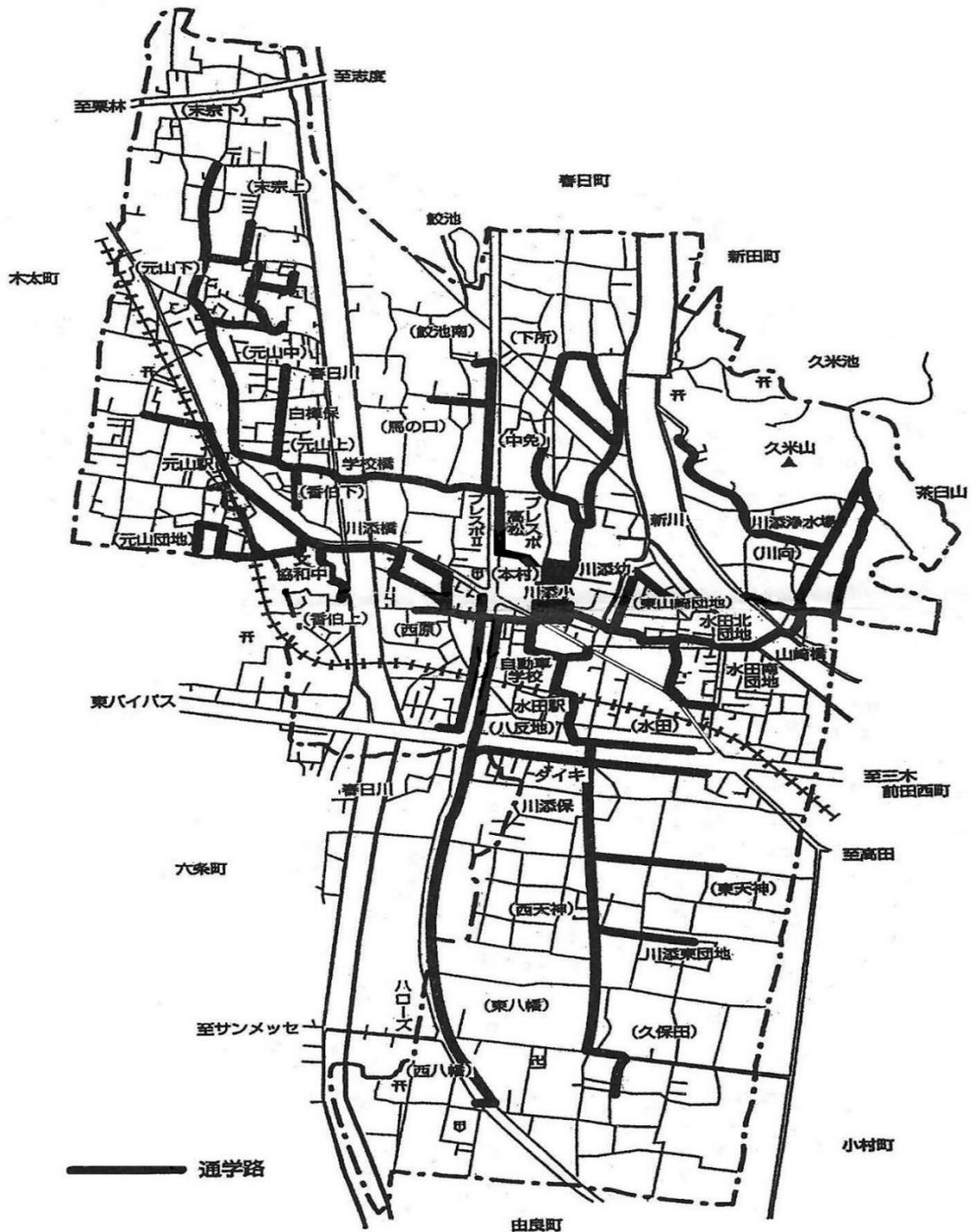


校区の概要



本校区は、高松市街地より約 6 km 東部に位置し、屋島を北に臨んでいる。元山町、東山崎町、下田井町の 3 町からなり、春日川・新川の流域にまたがり、南北約 5 km、東西約 3 km に広がっている。新川沿いには、久米山・茶臼山古墳の遺跡と、近代設備の川添浄水場がある。昭和 31 年、木田郡より高松市に合併、その後、住宅地帯として発展し、元山団地、東山崎団地、水田北・南団地等、大小九つの住宅団地が形成され、それに伴って学校規模も増大し、一時は 32 学級 1,200 名を超えた時もあった。現在は 21 学級、514 名になり、児童数は、微増傾向にある。校区内には、市立協和中学校、市立川添幼稚園と私立の保育園・こども園 2 園がある。

校区の中央を斜めに、主要地方道高松・長尾・大内線が通り、大川バスがその路線を走り、平行して琴電長尾線が通っている。学校から最寄りの水田駅より市街地までは、15 分余りである。学校の西側には県道高松長尾大内線が開通し、琴電水田駅の南寄りに国道 11 号線バイパスが通っている。そして、東西にのびる高速道路が整備され、校区内の様子も大きく変ぼうしてきている。